



恕の心



令和3年5月24日 校長 廣瀬 真樹

2年ぶり春の写生大会行われる



4月30日(金)、天候にも恵まれ、春の写生大会が行われました……………とりたいところでしたが、午後からは急な天候不良となり、移動時に雨で濡れてしまった人もいました。

大変な中の写生大会でしたが、できあがった作品をみて、本当にびっくりしました。まさに力作ぞろい!!かけはしホールの子供たちを見ていて皆さんが感心しながら見入っている姿が印象的です。私も午前中に皆さんの様子を見に行きましたが、何よりうれしかったのは、得意な人も、そうでもない人も自己ベストで取り組もうとする姿が全学年に見られたことです(ちなみに私は美術が苦手でした)。「一生懸命頑張る姿」って本当に輝いています。

3年生は最後の写生大会になりましたが、丸中生が本当に大切にしてほしい梯川周辺の景色を素敵に表現してくれました。1、2年生は来年、さらに自己ベストを目指して頑張ってほしいと思います。お疲れ様でした。

最優秀	
特選	
入選	

荒 了寛(あら りょうかん)さんの素敵な言葉

先日、友人からある人の本を紹介されました。『荒 了寛』さんは残念ながら2年前に亡くなれましたが、書籍やブログを見ていて、その言葉に共感し、感心する点がたくさんありました。

人ってだれでも、いつしかわがまま、傲慢(ごうまん)になり、初心を忘れ、大切にしてきたことを見失っていくもの……そんな時にこういう人達の言葉は結構心に刺さります。

荒さんの言葉をいくつか紹介します。

- ①ひとのせいにしていてもみんな自分のせいになしてみな
きつとうまくいくよ
- ②人と人の関係は歯車だ こちらも合わせないと回らないよ
- ③いい友達が欲しかったら いい友達になりなさい
- ④助けてもらってばかりいると 助からないよ
- ⑤つまずいて転んで 腹を立てる人 悟る人
- ⑥自分のためよりも、人のためにやったことが自分のためになるものです。
- ⑦思った通りにはならないが やった通りにはなる
- ⑧自分の不運や失敗を他人のせいにして いつまでもうらんでいようでは いつまでたっても成功しない
- ⑨努力するものは未来を語り、怠け者は過去を語る
- ⑩ほんとうに忙しい人は 忙しいなんて 言わないものだよ

みなさんの学校生活のヒントになればと思い紹介させてもらいました。

荒 了寛(あら りょうかん 1928~2019)

1928年、福島県生まれ。大正大学大学院博士課程で天台学専攻。仙台市仙岳院法嗣となり、仙台市の清浄光院、福島市の大福寺、上野寛永寺住職を経て、1973年、天台宗ハワイ開教総長としてハワイに渡る。布教活動の傍ら、ハワイ美術院、ハワイ学院日本語学校などを設立、日本文化の紹介、普及に努める。独自の画法による仏画を描き、米国や日本で毎年、個展を開催。主な著書に、『慈しみと悲しみ』『人生の要領の悪い人へ』『画文集・羅漢さんの絵説法―般若心経』『ハワイ日系米兵 私たちは何と戦ったのか』『シルクロードの仏を描く』など多数。